



Honda熊本 本戦出場決定！ —第89回都市対抗野球大会—



第一代表が決定した瞬間マウンドに駆け寄り喜ぶ選手の方々
おめでとうございます

「第89回都市対抗野球九州地区予選」が5月26日から福岡県で行われ、熊本県代表でHonda熊本が出場しました。町の「Honda熊本硬式野球部」は5月30日の決勝戦で沖縄県浦添市の沖縄電力に4対3で勝利し、九州第一代表を勝ち取りました。

Honda熊本は7月13日(金)から12日間、東京ドームで行われる都市対抗野球大会に大津町代表として出場します。1回戦の対戦相手はさいたま市代表の日本通運で、7月15日(日)午前10時30分試合開始です。

今年もパブリックビューイングで応援を行いますので、皆さんの参加をお待ちしています。

- ◆1回戦パブリックビューイング(観戦無料)※
- 日時 7月15日(日) 開場 午前10時から
試合開始 午前10時30分から
- 場所 町生涯学習センター2階 中会議室
- ※家庭のテレビではスカパーのJ SPORTSで放送予定。



昨年の観戦の様子

大津市で大津町のPR

子どもたちが多様な体験と世代を超えた出会いを経験し、たくましく育てて欲しいと願う「第35回大津っ子まつり」が5月20日に滋賀県大津市で開催されました。

これは、今年30周年を迎える町の行事「からいもフェスティバル」の一環で県外出展が実現したものです。同フェスティバル主催の明日の観光大津を創る会を中心に、県外初出展となる大津町食生活改善推進協議会による町特産のからいもの焼き芋やいきなり団子の実演配布、道の駅大津の物販が行われ、からいもくんも登場しました。

大津町のからいもを初めて試食したという大津市の皆さんからは「甘くておいしい。また食べたい」と感想があり、町の大きなPRになりました。

滋賀県大津市「大津っ子まつり」



PR活動の一環で行われた実演配布では長蛇の列ができ焼き芋は約1,000個、いきなり団子は約950個が配布されました

食生活改善推進員(ヘルスマイト)を知っていますか?

食生活改善推進員とは食を通じた健康づくりのボランティアです。ピンクのロゴ入りTシャツとエプロン姿で「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、家庭から地域へと健康づくりの輪を広げていく活動をしています。今回は初の県外活動として「大

津っ子まつり」に参加し、町産からいものレシピ配布や実演などを行いました。現在会員を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

●問い合わせ 役場健康保険課 健康推進係(子育て・健診センター内) ☎096(294)1075



アメリカンポスト
CIR (国際交流員): マシュー・サイバート

MAKING HISTORY!!

姉妹都市であるアメリカネブラスカ州ヘイスティングズ市からの訪問団にはいつも感動します。以前言いましたが、ヘイスティングズ大学を卒業して以来、私はそのコミュニティと深い繋がりを持っています。今年の訪問団は今までなかった歴史を作りました！今までの姉妹都市関係23年間のうちに、ヘイスティングズ市の高校生が大津町へ来た事がなかったのを知っていましたか？

来たのは高校生10人、引率者1人。ほとんどが日本に来るのは初めてでした。できるだけ多くの場所に行ったり、日本的なことを体験してもらいました。全員すごく感動していて、この経験は人生を変えることでしょう。

また、ヘイスティングズ市と大津町の新しい架け橋となるため、訪問団はヘイスティングズ市の小学生たちからの手紙を持って来ました。これから、大津町の小学生が返事を作ります。次の世代でより繋がりが深まるでしょう。将来この繋がりがどこまで広がるのか、見る事を楽しみにしています。



神社で手水の作法を学ぶ学生

今回、^{かちふみえ} 可知文恵さん(※)の支援のもと、ヘイスティングズ市と大津町国際交流協会の皆さんと連携したことで、この夢のような旅が実現しました。本当にありがとうございました！次はいつできるでしょうか？

楽しみにしていれば、それが早く起こるかもしれません。姉妹都市との新しいつながりを作りましょう！

※可知文恵さん
約20年前、ヘイスティングズ市の小中高校で5年間、日本文化の普及活動をしてきた人で、今回、町とヘイスティングズ市の交流のために寄付をいただきました。

大津町地域おこし協力隊です

町で活躍する大津町地域おこし協力隊の活動を渡部紗代さん(わたべ さよ)がお知らせします。

とうとう7月。今月で無事に任期満了し、地域おこし協力隊を卒業します。楽天主の私はいつも自分のことを幸運だと思っています。実際に大津町に来たことは本当にラッキーでした。役場をはじめ皆さんが温かく迎えてくれたり、Give and takeではなく、Give and give精神で何でも見せてくれたり、教えてくれたり、持たせてくれたりしました。

今までの生活では話しをする機会がなかった世代や職業の皆さんと語り合い、多くの考え方に触れて、自分を見つめ直す機会も沢山もらいました。パワフルだったり、穏やかだったり、姿勢は違っても信念を持って行動を起こす人が本当にたくさんいて、大津町は刺激的な町だと感じています。

では、逆に私が大津町地域おこし協力隊としてできたことは何だったか、成果はあったのか。振り返れば、与えてもらっただけでお返しできなかった気がします。穴があったら入りたい気分です。



植え付けしたからいもは秋のからいもフェスティバルで収穫予定です

先月も、からいもフェスティバルに向けてオーナー約1,000人が苗の植え付け体験にきてくれました。町外の人も多く、遠くからは県外の人もあります。

これは町のPRチャンス到来！とはりきり、町内の老人ホームにある足湯を開放してもらったり、芋天の割引券を配らせてもらったりと各所に協力をもらい、意気込んで準備をしていましたが、目標には今一步及ばずでした。次は、より町の魅力を楽しみつくるイベントになるよう考えを巡らせています。ですので、地域おこし協力隊を卒業した後もまだまだ町のイベントに関わらせてもらう予定です。これからもどうぞよろしくをお願いします。